



臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2025/09/01

研究課題名	進行性多巣性白質脳症の原因となる JC ポリオーマウイルスを標的とした検査技術の確立
研究の対象	PML の診断を目的として国立感染症研究所にマルチプレックス PCR、Nested-PCR、塩基配列解析等および抗体検査の依頼提出された患者
研究目的・方法	進行性多 性白質脳症(PML)は、免疫不全患者もしくは免疫抑制を伴う治療を受けた患者等の脳において JC ポリオーマウイルス (JCV)が増殖することで生じる致死の疾患です。JCV は多くの健常人において不顕性に持続感染および潜伏感染しており、細胞性免疫の低下等によって変異ウイルスが出現することで PML が生じると考えられています。 PML の診断では、脳脊髄液に放出された JCV を検出するリアルタイム PCR 検査が有効です。国立感染症研究所ウイルス第一部(以下、ウイルス第一部)では、厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班からの補助を受け、平成 19 年度より医療の一環として日本全国の医療機関からの本検査の依頼(年間 200 件程度)に応じています。また、検査結果を主治医に報告するとともに、検査依頼時に匿名化して提供される患者情報をデータベース化することで、PML の発生状況についての調査研究を継続しています。 研究期間: 許可日~2029 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	臨床検体中の病原体(JC ポリオーマウイルス)の特殊検査(超高感度 PCR 検査等)を国立感染症研究所に依頼します。その際、同研究所における研究の一環として、検査後の残余試料および患者情報の一部を記入した調査票(個人情報を削除)を提供します。
外部への試料・情報の提供	配送業者を介して提供先の機関に直接送付
研究組織	研究代表者: 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話: 06-6312-1221、FAX: 06-6312-8867 脳神経内科 吉田匡伸 研究責任者: 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院脳神経内科 吉田匡伸 研究代表者: 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 国立感染症研究所 ウイルス第一部 主任研究員 中道一生